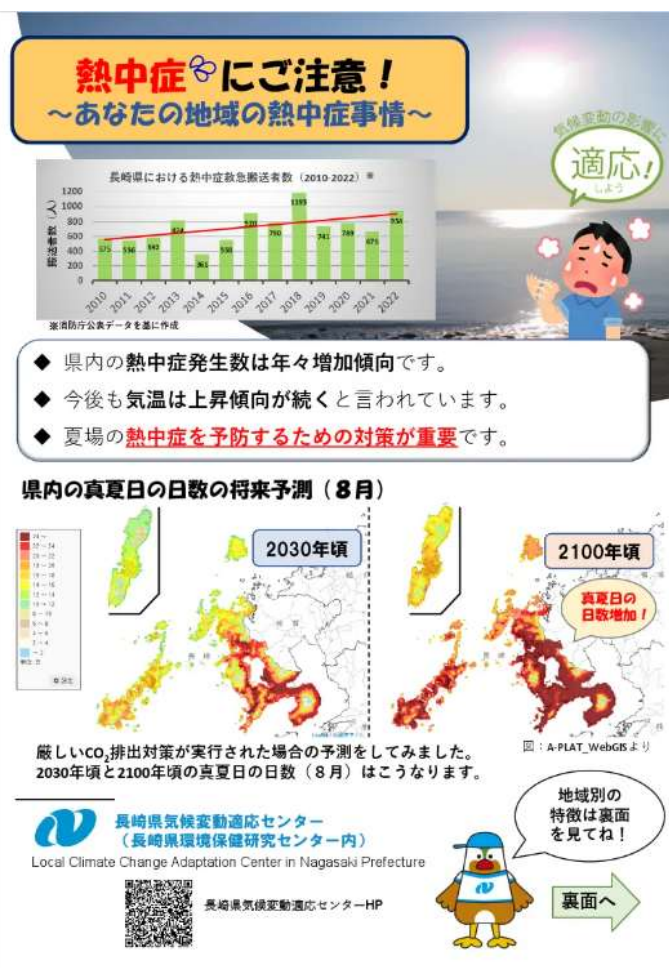


長崎県 ～あなたの地域の熱中症事情～

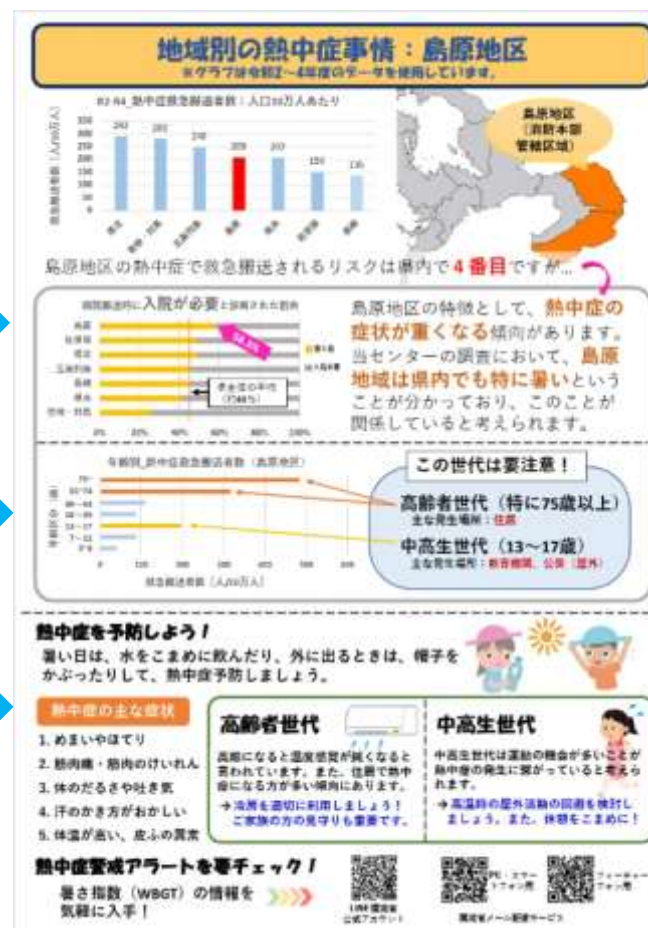
- 長崎県環境保健研究センターが、令和2～4年にかけて県内を7地域（長崎、佐世保、県央、県北、杵岐・対馬、五島列島、島原）に分けて地域ごとに分析を実施し、その結果について普及啓発資料として作成・公表
- 特にリスクが高いとされた**島原地区**については別途**詳細版**を作成・公表
- 島原地域の高齢者を対象とした出前講座や主催又は出展イベントで配布、県民に対する普及・啓発に活用

通常版 (島原地域)

(表面)



(裏面)



地区ごとの
特徴を記載

要注意となる
世代を記載

要注意世代の
予防ポイント

長崎県 ～あなたの地域の熱中症事情～

詳細版 (島原地域)



▲県内で比較的暑く、熱中症リスクが高いとされる島原市、南島原市にて一般住民を対象とした講演を実施

写真は「あかね会」（ひとり暮らし高齢者食事会（島原市））での講演の様子

この他、市広報紙に研究成果に基づく啓発記事も掲載

表面

熱中症にご注意！ ～島原地域の暑熱事情～

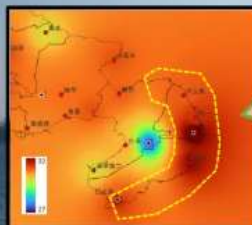


【はじめに】

県内においても、年平均気温は上昇傾向にあり、熱中症発生数も増加傾向にあります。当センターでは熱中症に関する地域特性を把握するために、令和2年度から令和4年度まで県内各地で温度・湿度の気象観測を行い、熱中症と県内の暑熱環境に関する調査・研究を行いました。その結果、**島原地域では暑熱環境及び熱中症の発生に関して、地域的な特徴が見られています。**

Point!

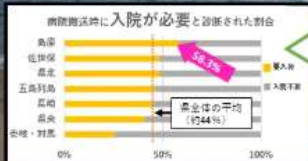
←図は令和2年8月の暑さ指数（WBGT）の日最高値平均



県内でも**島原半島の一部（東側）は暑さが厳しい地域と考えられます。**
※気象庁の協力のもと環境省が公表している暑さ指数のデータ（2010年～2022年）においても、観測点「島原」及び「口之津」の値が県内で高い傾向にあることを確認しています。

Point!

←図は救急搬送者が初診時に要入院と診断された割合



島原地域は病院に搬送された方の**6割近くが「要入院」となっています。**

長崎県気候変動適応センター
(長崎県環境保健研究センター内)
Local Climate Change Adaptation Center
in Nagasaki Prefecture



長崎県気候変動
適応センターHP

裏面

熱中症救急搬送者数と暑さ指数の関係

※グラフはR2～4年度のデータを使用しています。

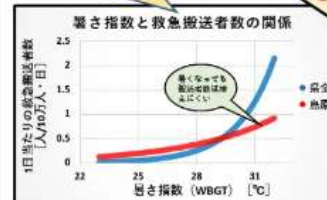


島原地区は暑い！
夏場に暑さ指数（WBGT）が30℃以上となった日の日数が県内最多です！

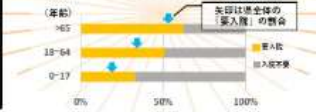
搬送者数はそこまで多くない…
暑さと高齢化率の高さ（約35%）から見て搬送者数は少ないと言えます。
※高齢化率が高い地域は搬送者数が多い傾向にあります。



実際、暑さ指数（WBGT）と熱中症救急搬送者数の関係を見ると、**島原地区では、暑さが厳しくなっても救急搬送者数が増えにくいことが分かります。**



熱中症の症状は重くなりがち！



【まとめ】

- 島原地区は県内でも比較的**暑い地域**のため、住民の皆さんは**暑さに慣れている可能性**があります（救急搬送者数少）。
- 熱中症になると、その暑さのため、**症状が重くなる可能性が高い**と考えられます（要入院患者数多）。

熱中症警戒アラートを要チェック！

暑さ指数（WBGT）の情報を気軽に入手！



長崎県ホームページ <https://www.pref.nagasaki.jp/bunrui/kurashi-kankyo/kankyohozen-ondankataisaku/kikouhendo/heatstroke/>

■ 苦労した点

- ・ 県内のWBGT調査のために、最大70地点（小学校）に温度・湿度を記録するデータロガーを設置したため、各種調整やデータの回収、整理、分析に苦労しました。

■ 工夫した点

- ・ 県民に「自分事」と捉えていただくために、県下全域ではなく、地域別（7地域）の啓発資料として作成しました。